

震災復興の願いを実現する政治(P46～P55)名前 ()

めあて 災害にあった人々の願いは、どのような人たちの、どのような働きによって実現されるのだろうか。

○東日本大震災の発生後、まちの人たちはどんなことを願ったのでしょうか。

P46～P47を読んで書き出してみましょう。



(1)市や県、国の取り組みを知ろう。

災害救助法って何？P48 のことばをまとめましょう。

災害発生直後、都道府県や市町村

緊急対応

・宮城県気仙沼市では大きな地震の直後に () を設けた。

① () の開設。

② () の確認

③ 避難した住民のための ()、食料、 () などを宮城県や () 協定を結んでいる他県の市などに手配を要請。

・宮城県でも被害状況をつかむための () を行うとともに、

() に火災時の派遣要請を行った。また、 () を適用して

必要な物資を () に送る準備を始めた。

・国〔政府〕は、災害対策基本法にもとづき、 () を設けた。

② () の派遣人数の増員。

②他国への () 要請。

③ 必要な物資や () の準備。

・国は緊急事態に対応するために、全国各地の消防署から () を派遣させた。

(2) 復旧・復興に向けた国の取り組みを知ろう。

まず復旧・復興って何？…P51 のことばをまとめましょう。

国や都道府県が主体となって、

【復旧の取り組み】

- ・国会の話し合いを経て、() を成立。
- ・() をつくって、被災した人々が、そこへ移ることができるようにした。
- ・水道、ガス、電気などの() の復旧。
- ・まち中にあふれる大量の() の撤去。

【復興の取り組み】

- ・国会の話し合いを経て、() を成立。
- ・() という新しい役所を設けた。

⇒こうした予算には国民や企業から集められた() が使われる。



※税金には、働く人の() にかかる税金〔所得税〕、() を買ったときにかかる税金〔消費税〕、() のもうけにかかる税金〔法人税〕などがある。2013年1月1日から2037年12月31日までの間、国民や企業は() からの復興に役立てるための特別な税金を国に納めることになっている() 。

(3) 市や市民の取り組みを知ろう。

まちづくりって何？P53 のことばをまとめましょう。

地震や津波などによって被害を受けた地域の

気仙沼市役所の小野寺さんの話

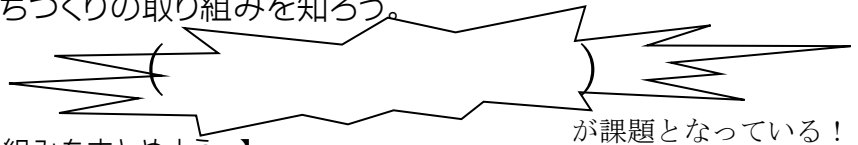
- ・気仙沼市は、かつおやさめの()が有名。
 - ・大震災を克服し、新しい気仙沼市をつくるための()をつくった。
 - ・住宅や道路、()の整備、新しい()の建設などを進めてきた。
 - ・市民の意見を県や()に伝えたり、予算や制度を利用して市民の要望を()したりするのが()の役割。
- ⇒ 水産業という特色を生かした()に取り組んでいる。

気仙沼漁港の小松さんの話

- ・大震災による()のダメージは、かなり深刻だった。
- ・国や県、()のすみやかな対応もあり、震災3か月後には()の水あげを再開させることができた。
- ・気仙沼は20年以上連続で、()日本一！！
- ・今後は、限りある()を守りながら、水産業を進めていくことが大切。

(4) これからに向けたまちづくりの取り組みを知ろう。

気仙沼市では、震災前から



が課題となっている！

【P54の写真や文章から取り組みをまとめよう。】

- ① ちょいのぞきポスターと漁師カレンダー
→ 漁業を生かした()メニューの充実に取り組み、市の()を発信。
- ② 気仙沼の()を生かした商品
→ 気仙沼市の特産である()やほやを使い、化粧品や調味料などの新しい商品の()に取り組んでいる。
- ③ 気仙沼市移住・()センター
→ 気仙沼市に()を考えている人をサポートするため、気仙沼での()、空き家、イベントなどの()を提供している。

⇒ 市と市民が協力して、みりよくあるまちづくりを進めている！

※P55を最後に読みましょう。

ふり返し(災害救助法・復旧・復興・まちづくりなどの言葉を使ってまとめてみよう。)